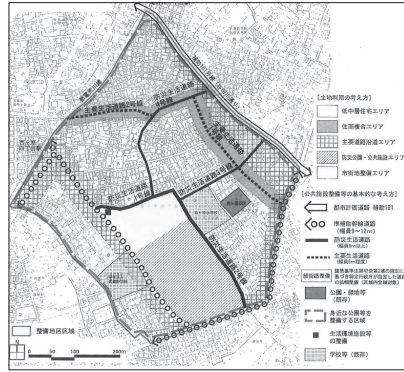


西ヶ原地区密集事業

西ヶ原地区で実施している「密集事業」は、平成17年から10年間で道路や身近な公園等が不足し、老朽化した住宅等が目立つ地域の住環境を改善し、防災性の向上を図るため、改善の必要性が高いところを修復するように進める事業です。

区が道路や身近な公園などの整備を進めるとともに、一定の条件に該当する賃貸住宅への建替え(共同化・協調化)を行う建て主の方に対して助成を行っているものです。

この8年間の成果は、平成22年に開設されました「西ヶ原みんなの公園」整備により西ヶ原地区の不燃領域率は51.4%から58.5%と、目標値である60%へと近づくとともに、道路拡幅の指定された防災生活道路2路線、主要生活道路4路線両側合計3072mのうち1004.04mが拡幅され36.04%の進捗率です。しかしながら、みんなの公園周辺を除く地域の整備率進捗は1.71%に留まっており(右記の西ヶ原小学校脇道路については加算前です)、更なる推進に力を注ぐべきであります。事業期間残り2年となり、今後の取り組みについて北区の方針の明確化と強化、また補助事業として国や東京都に期間の延伸を求めていくよう今後も要望して参ります。



北区立小・中学校改築改修計画

北区教育委員会では学校の改築と当面改築に至らない学校への施設の長寿命化や教育環境の充実を目的とした大規模な改修を推進するための基本的な考え方と、計画的かつ効率的に実施するための具体的な実現策をまとめる事を目的として「北区立小・中学校改築改修計画(案)」をまとめました。今後、計画案に対してパブリックコメント(区民意見公募)実施後、平成26年3月に計画の策定と公表決定がされます。(詳しくは<http://www.city.kita.tokyo.jp/menu/pubcome/>をご参照ください。)



その中で、西ヶ原小学校リフレッシュ改修事業の対象として平成26年設計、平成27年工事の予定となっています。(リフレッシュ改修例:外壁補修など施設の長寿命化、教室等の内装改修など教育環境の充実、他に防災対策の充実や環境への配慮など)

西ヶ原小学校北東側道路は密集事業拡幅道路、防災生活道路3号線に指定されており、これまで区に対し、公共施設である学校が率先し拡幅に対応し、それに合わせて学校の改築や改修を提案してまいりました。今回のリフレッシュ改修事業に合わせて、密集事業への対応と子ども達の教育環境の充実、そして地域の避難所としてその機能向上につながるよう、今後も区に提案して参ります。

仮称滝野川仮庁舎

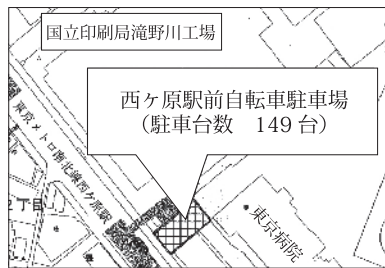
区役所庁舎の耐震化対策として庁舎機能の一部、教育委員会・選挙管理委員会事務局・監査事務局が旧滝野川中学校に移転、「仮称滝野川仮庁舎」として開設されます。

予定では平成25年12月中旬～平成26年8月頃まで整備工事、10月より運用開始です。仮庁舎として暫定利用中も引き続き体育館は地区体育館として、また避難所としても利用されます。仮庁舎暫定利用後の跡地については地域にあった利活用計画になるよう策定を求めています。

西ヶ原駅駐輪場整備について

平成25年第四定例議会で、南北線西ヶ原駅前自転車駐車場の新設整備が提案され可決されました。

これまで、西ヶ原駅周辺の駐輪施設は暫定的措置として定期利用75台分が、本郷通り沿いの都道を賃借し「指定自転車置場」として対応されてきました。地域の方々より、台数の増設や定期利用以外にも時間貸し駐輪施設の新設を求めるとの要望をいただいております。平成22年第二回定例議会、自民党代表質問の中でその改めて地域の皆様の声として区長に整備を求めました。その後関係部署への働きかけ調整がなされ、西ヶ原駅脇、東京病院との間に定期利用86台、当日利用63台合計149台の自転車駐輪場が平成26年4月に整備されることとなりました。またこれまで「指定自転車置場」として利用されていたスペースの活用について、植栽を増やしてほしいなどのご要望もいただいております。スペースが空くことで自転車が放置されないよう、その対応を東京都へ要望していくよう、区に対して提案して参ります。



2020年オリンピック・パラリンピック東京



平成24年秋から開催都市決定の平成25年9月まで各地域や各団体、学校関係の皆様には2020年オリンピック・パラリンピック招致活動として、東京都の補助金制度を活用いただき、イベントの際にオリンピックマーク入りののぼりや横断幕を掲げ、オリンピックマーク入りのジャンパーやTシャツを着て、オリンピックマークのグッズなどを配布するなど、気運醸成に大変なご協力をいただきました。各地域でのそのような活動の積み重ねで、他国より低かった支持率も少しずつ上昇し、オリンピック・パラリンピックへの夢が広がっていったと思います。改めてご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

北区では開催地決定後、東京オリンピック・パラリンピック担当課を設置し、国内唯一の選手強化施設「味の素ナショナルトレーニングセンター」や都立障害者総合スポーツセンターなどを中心としてスポーツのまち北区をPRできるよう、すでに活動を開始しました。今後2020年オリンピック・パラリンピック開催に向け、駅周辺のバリアフリー化や安全安心のまちづくりの促進、国内外から多くの観光客を招致し、地域経済の活性化が図られる仕組みづくり、そして未来を担う子ども達がオリンピック・パラリンピックによって将来の夢や希望が持てるような施策を提案していきたいと思っております。



ご相談ください

区民の期待へ決意を新たに政策実行力の自民党議員団



まちづくり、子育て、介護、経営...など、様々なご相談、ご要望を頂いております。皆様のお声を今後の区政運営、制度づくりに繋げてまいります。